

# 放課後等デイサービス 令和元年度事業内容 説明会

Ryouiku Circle はなはな

# 説明会の内容

1. 説明会の目的
2. 現在の発達支援体制の概要
3. 発達支援体制の概要
4. 発達支援体制の目的と説明
5. 今後のタイムスケジュール
6. 各事業所の放課後等デイサービスの事業内容
7. 質問など

# 説明会の目的

- \* 平成31年4月より、きりしま子ども発達支援センター 実樹ときりしま総合発達支援センターの2箇所での発達支援を提供しています。
- \* 放課後等デイサービス事業は支援の方向性によって3カ所に分かれています。
- \* 3カ所の事業所はそれぞれ異なった機能を持ちます。

# 現在の発達支援体制の概要

## \* きりしま子ども発達支援センター実樹

児童発達支援(定員20名)

放課後等デイサービス(定員10名)

※現在の放デイ利用者数: 128名

## \* きりしま総合発達支援センター

放課後等デイサービス わかば(定員10名)

重症児を主な対象とする

児童発達支援・放課後等デイサービス つぼみ(定員5名)

保育所等訪問支援事業 つくし

※現在の放デイ利用者数: 178名

# 新しい発達支援体制の概要

<令和元年4月>

継続

新築・移転

きりしま子ども発達支援センター 実樹

きりしま総合発達支援センター

児童発達支援  
定員20名

放課後等デイサービス  
定員10名

放課後等デイサービス  
わかば  
定員10名

<令和元年10月~>  
重症児を主な対象とする  
児童発達支援  
放課後等デイサービス  
定員5名 つぼみ

生活介護 いぶき  
定員8名

保育所等訪問支援  
つくし  
相談支援  
たんぽぽ  
訪問看護ステーション  
めばえ

# 発達支援体制の目的と説明1

## きりしま子ども発達 支援センター 実樹 放課後デイ

- 獲得した機能、代替手段を生活に活かせる場、人を増やしていく支援  
(買い物や余暇活動など仲間との活動など)
- 学校生活への移行支援  
(学校連携を増やし療育の終了を目指す)
- 家族支援  
(勉強会、座談会、保護者相談など)

## きりしま総合発達 支援センター 放課後デイ わかば

- 日常生活、小集団の場面できめ細かな支援の必要な子ども達を中心に機能面の向上を重視した支援
- 課題への取り組みや注目、全体指示に従うことが苦手な子ども達に対し、活動への参加が行いやすくなるような支援

## きりしま総合発達 支援センター

重症児を主な対象とする

## 放課後デイ・児童発達 支援 つぼみ

- 実際の社会活動をテーマとする。
- 社会活動に「どれだけ参加できるか」、「どれだけ支援できるか」、「参加したことを自他共にどれだけ認知できるか」。

# 発達支援体制の目的と説明2

## 実樹

### 放課後デイ

<定員>10名

<スタッフ数>

児発管1名、スタッフ3名

<期間>

前半6ヶ月 1~2回/月程度

後半6ヶ月 1~2回/月程度

(1度契約を終了し、再開の時に再契約)

## きりしま総合発達

### 支援センター

### 放課後デイ わかば

<定員>10名

<スタッフ数>

児発管1名、スタッフ4名

<期間>

半年に1回、評価を実施し、療育頻度・内容についてその都度、検討する。

## きりしま総合発達

### 支援センター

重症児を主な対象とする

### 放課後デイ・児童発達支援 つぼみ

<定員>5名

<スタッフ数>

児発管1名、スタッフ4名

<期間>

年間4クールとし、各クールのテーマ(活動)への参加、支援、参加の認知について目標を決める。初期、最終評価で目標の達成度を判定する。

# 今後のスケジュール

<R1.10月~>

第3.4回個別支援計画の作成

<R1.12月>

\* 令和2年度事業内容説明会

<R1.12月~>

\* 保護者の方々へ説明、承諾

<R2.1月~>

\* 令和2年度の利用事業所の決定へ

<R2.2月~>

\* 利用日・時間の調整

<R2.4月~>

\* 契約変更、利用開始



# 放課後等デイの今年度の事業内容

- \* きりしま総合発達支援センター

放後等デイサービス わかば

重症児を主な対象とする放課後デイ・児童発達支援 つぼみ

- \* きりしま子ども発達支援センター 実樹

放課後等デイサービス

# 質問